

令和6年度(第87回)通常総会資料

日時 令和6年2月15日(木曜日) 10:30~11:45
場所 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
如水会館2階 オリオンルーム

			頁
【監査報告】			1
【令和5年度の総括と令和6年度の目標】			2
【決議事項】			
第1号議案	令和5年度決算報告承認の件	定款第39条第1項および第2項	3
第2号議案	令和6年度役員選任の件	定款第23条	10
第3号議案	名誉会員委嘱の件	定款第5条第5項	11
【報告事項】			
報告1	令和5年度事業報告	定款第39条第1項および第2項	12
	1. 令和5年度通常総会報告		12
	2. 会員動向報告		12
	3. 事業報告(公1:編集出版事業)		13
	4. 事業報告(公2:研究会事業)		13
	5. 事業報告(公3:表彰事業)		13
	6. 事業報告(他1:共益事業)		13
報告2	令和6年度事業計画	定款第38条	26
報告3	令和6年度収支予算	定款第38条	29
報告4	永年会員認定者	定款第5条第4項	32
【参考資料】	(付表1) 令和5年度一般正味財産の構成表		33



公益社団法人 有機合成化学協会

令和6年2月15日

担当者	事務局長	会長
		

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、令和5年1月1日から令和5年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。


(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和6年1月17日

公益社団法人有機合成化学協会

監事 家田 成

家田 成 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 千田 憲孝

千田 憲孝 

公益社団法人有機合成化学協会

監事 満田 勝

満田 勝 

以上

令和5年度の総括と令和6年度の目標

令和5年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と令和6年度の目標について説明する。

【令和5年度の課題と取り組み】

新型コロナウイルスが5月に5類へ移行したことを受けて本部・支部事業ともに対面開催についてはほぼ予定通り実施することができた。

通常総会は前年の完全オンライン形式から定員上限を設けつつ会場参加の形式で実施、また併催事業（表彰式、受賞講演）も会場参加とオンラインを併用して実施、終了後は茶話会を行い参加者同士の交流の場として活用頂いた。

会長と支部幹事との直接対話の機会となる「支部キャラバン」は北海道、東海、関西、中国・四国の4支部で実施した。

さらに各支部に配備のZoomは会議をはじめ講演会等の各事業においても多くの活用報告があった。

【創立80周年記念事業】

創立80周年記念式典ならびに記念国際シンポジウムは、東工大蔵前会館において会場参加形式で実施、盛会裡に無事に終えることができた。また記念出版本『ドラマチック有機合成化学 感動の瞬間 100』を記念式典当日に参加者に頒布した。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り12号を刊行した。特集号については、5月号では「日本の誇るハロゲン資源：ハロゲン反応と機能」と題し9編の総合論文と5編のケミカルズ覚え書きを、11月英文特集号では10編の総合論文をそれぞれ掲載した。協会誌の特集広告は「受託合成」、「クロマトグラフィー関連」を取り上げた。

【研究会事業】

対面での事業実施を積極的に行った。その主なものを以下に紹介する。

◆「有機合成シンポジウム」は、春季（第122回）は創立80周年記念事業と同じ会場で前日より実施した。秋季（第123回）は早稲田大学にて実施した。

◆「有機合成化学講習会」は「フッ素」をテーマに少人数制と集中講義のスタイルで11月に実施した。

◆「AI研究部会」は講演会形式、講習会形式で勉強会を1回ずつ実施し、「ニューモダリティ研究部会」は公開講演会1回ならびに勉強会2回を実施した。

◆「第39回有機合成化学セミナー（関西支部主催）」は、Mukaiyama Award、有機合成化学奨励賞の各受賞講演と、招待講演、ポスターセッション（91件）を盛り込み、合宿・対面形式で9月に実施した。

ただ Lectureship 受賞者については、来日が叶わず、本年1月に関西に来日されたのを機に、別途受賞講演会を関西支部においてオンライン併用で実施した。

その他、支部主催の各事業は対面、ハイブリッド、オンラインの各形式においてその都度状況に応じて実施した。

【表彰事業】

令和5年度も本会の表彰が揃い、内容的に非常に高いレベルを維持した。特別賞、協会賞、奨励賞の3賞、高砂香料国際賞「野依賞」、研究企画賞、Mukaiyama Award、Lectureship 各賞の選考を例年通り実施した。企業冠賞は昨年と同様4賞となった。

【相互交流】

ゆうごう会は昨年同様に引き続き実施できなかったが、新春特別フォーラムは感染防止のため着席スタイル（参加人数の上限を設けて）の賀詞交歓会が実施できた。中堅若手リーダーのための YUGOKAFé は昨年と同じく対面形式での実施だったが、今回は情報交換会を実施することができ、参加者間の交流に大いに役立った。

【財務環境】

令和5年度は、創立80周年記念事業のため例年に比べて大きな赤字の収支予算を組んでいたが、想定以上の参加登録があり収益が増大し赤字額が縮小。

▲23.8百万円の収支予算は、収益118.4百万円、費用131.8百万円、収支▲13.4百万円となった。

【令和6年度目標】

「本会における多様性の推進」への取り組みについて具体的なビジョンを掲げて推進していく。

支部キャラバンは本部・支部間のコミュニケーションを緊密に連携させる貴重な場であり、今後も継続的に実施していく予定である。

その他各種事業や会議では引き続き感染の防止に注意を払いながら状況に応じてオンラインの活用を進めつつ、本会ならではの対面のメリットを前面に出しながら活動を展開していく。また、協会の魅力をより高めるための各種活動にも取り組み、さらなる活性化を図ってきたいと考えている。

【決議事項】

第1号議案 令和5年度決算報告承認の件

定款39条第1項および第2項に定めるところにより、令和6年1月度理事会で承認されたp.3～9に示す諸表のとおり令和5年度決算書類を承認する。

表1・1 令和5年度正味財産増減計算書

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：円)

科目	R5決算 A	R5予算 B	R4決算 C	A-B	A-C
1 【一般正味財産増減の部】					
2 1. 経常増減の部					
3 経常収益	118,415,362	126,697,823	113,275,536	▲ 8,282,461	5,139,826
4 特定資産運用益					
5 特定資産受取利息	324,066	802,500	824,510	▲ 478,434	▲ 500,444
6 退職特定資産受取利息	283	1,000	1,034	▲ 717	▲ 751
7 受取会費					
8 正会員費受取会費	62,856,500	64,100,000	63,796,500	▲ 1,243,500	▲ 940,000
9 事業収益	44,505,299	52,222,000	43,745,374	▲ 7,716,701	759,925
10 編集出版事業収益	12,679,303	14,295,000	15,561,672	▲ 1,615,697	▲ 2,882,369
11 研究会事業収益	25,125,996	31,227,000	19,833,702	▲ 6,101,004	5,292,294
12 表彰事業収益	6,700,000	6,700,000	8,350,000	0	▲ 1,650,000
13 受取寄付金	6,403,535	5,390,000	4,432,997	1,013,535	1,970,538
14 共催分担保金	1,211,000	190,000	930,000	1,021,000	281,000
15 国際賞基金	3,723,921	4,000,000	2,213,738	▲ 276,079	1,510,183
16 Mukaiyama Award基金	1,098,614	1,200,000	1,259,259	▲ 101,386	▲ 160,645
17 受取一般寄付金	370,000	0	30,000	370,000	340,000
18 雑収益	4,325,679	4,182,323	475,121	143,356	3,850,558
19 受取利息	719	2,323	774	▲ 1,604	▲ 55
20 雑収益	40,060	50,000	60	▲ 9,940	40,000
21 懇親会参加料収益	4,284,900	4,130,000	474,287	154,900	3,810,613
22 経常費用	131,868,055	150,549,937	117,203,894	▲ 18,681,882	14,664,161
23 事業費および管理費	131,868,055	150,549,937	117,203,894	▲ 18,681,882	14,664,161
24 編集出版事業費	25,979,823	31,860,289	23,082,505	▲ 5,880,466	2,897,318
25 研究会事業費	29,189,028	36,972,314	22,649,613	▲ 7,783,286	6,539,415
26 表彰事業費	11,124,378	12,464,377	10,710,152	▲ 1,339,999	414,226
27 給料手当	28,077,962	30,135,788	28,938,856	▲ 2,057,826	▲ 860,894
28 アルバイト費	2,682,999	2,580,000	2,620,399	102,999	62,600
29 退職給付費用	796,501	3,404,454	3,162,179	▲ 2,607,953	▲ 2,365,678
30 その他人件費（福利厚生費）	6,352,325	6,508,127	6,256,431	▲ 155,802	95,894
31 懇親会費	7,669,058	6,530,000	1,066,909	1,139,058	6,602,149
32 会議費	1,318,467	1,303,000	1,027,043	15,467	291,424
33 旅費交通費	2,159,828	3,465,000	1,753,499	▲ 1,305,172	406,329
34 通信費	772,016	1,341,500	632,732	▲ 569,484	139,284
35 什器備品費	32,780	200,000	0	▲ 167,220	32,780
36 事務用品・リース費	1,675,801	2,000,000	1,447,711	▲ 324,199	228,090
37 水道光熱費	248,902	290,000	166,678	▲ 41,098	82,224
38 事務所賃借料	4,928,989	4,928,988	4,928,988	1	1
39 諸謝金	1,210,000	1,200,000	1,210,000	10,000	0
40 雑費（税・手数料・会費・IT）	7,649,198	5,366,100	7,550,199	2,283,098	98,999
41 当期経常増減額	▲ 13,452,693	▲ 23,852,114	▲ 3,928,358	10,399,421	▲ 9,524,335
42 2. 経常外増減の部					
43 経常外収益	0	0	0	0	0
44 経常外費用	0	0	0	0	0
45 当期経常外増減額	0	0	0	0	0
46 3. 一般正味財産増減額					
47 一般正味財産期首残高	299,491,291	299,491,291	303,419,649	0	▲ 3,928,358
48 一般正味財産期末残高	286,038,598	275,639,177	299,491,291	10,399,421	▲ 13,452,693
49 【指定正味財産増減の部】					
50 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
51 特定資産運用益計	78	4,000,050	4,000,064	▲ 3,999,972	▲ 3,999,986
52 特定資産受取利息	78	50	64	28	14
53 受取寄付金	0	4,000,000	4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000
54 一般正味財産への振替額	▲ 3,723,921	▲ 4,000,000	▲ 2,290,715	276,079	▲ 1,433,206
55 当期指定正味財産増減額	▲ 3,723,843	50	1,709,349	▲ 3,723,893	▲ 5,433,192
56 指定正味財産期首残高	9,980,890	9,980,890	8,271,541	0	1,709,349
57 指定正味財産期末残高	6,257,047	9,980,940	9,980,890	▲ 3,723,893	▲ 3,723,843
58 2. Mukaiyama Award基金					
59 特定資産運用益計	1,300,049	1,000,100	56	299,949	1,299,993
60 特定資産受取利息	49	100	56	▲ 51	▲ 7
61 受取寄付金	1,300,000	1,000,000	0	300,000	1,300,000
62 一般正味財産への振替額	▲ 1,098,614	▲ 1,200,000	▲ 1,259,259	101,386	160,645
63 当期指定正味財産増減額	201,435	▲ 199,900	▲ 1,259,203	401,335	1,460,638
64 指定正味財産期首残高	4,234,696	4,234,696	5,493,899	0	▲ 1,259,203
65 指定正味財産期末残高	4,436,131	4,034,796	4,234,696	401,335	201,435
66 【正味財産】					
67 正味財産期末残高	296,731,776	289,654,913	313,706,877	7,076,863	▲ 16,975,101

表 1・2 令和 5 年度正味財産増減内訳表(1/3)

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	12,679,596	26,337,231	10,746,073	49,656,635	2,985,695	16,010,132	118,415,362
特定資産運用益	293	235	323,538				324,066
編集出版特定資産受取利息	293						293
研究会特定資産受取利息		235					235
表彰特定資産受取利息			323,538				323,538
退職特定資産受取利息						283	283
受取会費				49,656,635	1,885,695	11,314,170	62,856,500
個人会員費受取会費				24,929,240	946,680	5,680,080	31,556,000
法人会員費受取会費				22,933,700	870,900	5,225,400	29,030,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,667,295	63,315	379,890	2,110,500
事業収益	12,679,303	25,125,996	5,600,000		1,100,000		44,505,299
編集出版事業収益	12,679,303						12,679,303
会誌事業収益	3,121,200						3,121,200
広告事業収益	8,082,250						8,082,250
別冊事業収益	24,800						24,800
会誌関係雑収益	30,030						30,030
単行本印税収益	27,992						27,992
複写権使用料収益	1,393,031						1,393,031
研究会事業収益		25,125,996					25,125,996
シンポジウム事業収益		18,845,996					18,845,996
講習会事業収益		3,440,000					3,440,000
懇談会事業収益		2,840,000					2,840,000
見学会事業収益							0
表彰事業収益			5,600,000		1,100,000		6,700,000
企業冠賞事業収益			5,600,000				5,600,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益		1,211,000	4,822,535			370,000	6,403,535
受取寄付金		1,211,000	4,822,535			370,000	6,403,535
雑収益						4,325,679	4,325,679
受取利息						719	719
雑収益						40,060	40,060
懇親会参加料収益						4,284,900	4,284,900

表 1・3 令和 5 年度正味財産増減内訳表(2/3)

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
経常費用	44,245,089	51,814,729	16,484,656		2,824,003	16,499,578	131,868,055
事業費	44,245,089	51,814,729	16,484,656		2,824,003		115,368,477
編集出版事業費	25,979,823						25,979,823
印刷製本費	11,258,325						11,258,325
用紙費	3,431,450						3,431,450
原稿料・校正費	539,000						539,000
編集費	3,379,386						3,379,386
送達費	6,323,988						6,323,988
別冊作成費	200,310						200,310
電子出版費	847,364						847,364
研究会事業費		29,189,028					29,189,028
シンポジウム費		20,235,848					20,235,848
講習会費		2,205,204					2,205,204
懇談会費		3,497,994					3,497,994
見学会事業費							0
研究会議費		203,133					203,133
事務委託費		2,946,849					2,946,849
支払寄付金		100,000					100,000
表彰事業費			11,032,398		91,980		11,124,378
表彰事業費			1,420,497				1,420,497
企業冠賞費用			4,789,366				4,789,366
研究企画賞費					91,980		91,980
国際賞費用			3,723,921				3,723,921
Mukaiyama Award事業費			1,098,614				1,098,614
給料手当	9,825,042	11,230,064	2,807,516		1,407,549		25,270,171
アルバイト費	1,043,150	1,192,325	298,081		149,443		2,682,999
退職給付費用	278,713	318,570	79,642		39,929		716,854
その他人件費（福利厚生費）	2,222,809	2,540,679	635,169		318,443		5,717,100
会議費	231,594	347,425	77,198		38,634		694,851
旅費交通費	307,750	461,672	102,583		51,338		923,343
通信費	212,006	318,042	70,669		35,366		636,083
什器備品費	9,833	14,751	3,278		1,640		29,502
事務用品・リース費	502,692	754,114	167,564		83,857		1,508,227
水道光熱費	74,665	112,009	24,888		12,455		224,017
事務所賃借料	1,478,552	2,218,050	492,851		246,647		4,436,100
雑費（税・手数料・会費・IT）	2,078,460	3,118,000	692,819		346,722		6,236,001

表 1.4 令和 5 年度正味財産増減内訳表(3/3)

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1・編集・出版	公2・研究会	公3・表彰	公益事業共通			
管理費						16,499,578	16,499,578
給料手当						2,807,791	2,807,791
退職給付費用						79,647	79,647
その他人件費（福利厚生費）						635,225	635,225
懇親会費用						7,669,058	7,669,058
会議費						623,616	623,616
旅費交通費						1,236,485	1,236,485
通信費						135,933	135,933
什器備品費						3,278	3,278
事務用品・リース費						167,574	167,574
水道光熱費						24,885	24,885
事務所賃借料						492,889	492,889
諸謝金						1,210,000	1,210,000
雑費（税・手数料・会費・IT）						1,413,197	1,413,197
当期経常増減額	▲ 31,565,493	▲ 25,477,498	▲ 5,738,583	49,656,635	161,692	▲ 489,446	▲ 13,452,693
2. 経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							299,491,291
一般正味財産期末残高							286,038,598
当期一般正味財産増減額							▲ 13,452,693
【指定正味財産増減の部】							
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			▲ 3,723,843				▲ 3,723,843
特定資産受取利息			78				78
受取寄付金							
一般正味財産への振替額			▲ 3,723,921				▲ 3,723,921
指定正味財産期首残高			9,980,890				9,980,890
指定正味財産期末残高			6,257,047				6,257,047
2. Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			201,435				201,435
特定資産受取利息			49				49
受取寄付金			1,300,000				1,300,000
一般正味財産への振替額			▲ 1,098,614				▲ 1,098,614
指定正味財産期首残高			4,234,696				4,234,696
指定正味財産期末残高			4,436,131				4,436,131
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							296,731,776

【参考】表 1.5 主な科目の対予算・対前年度決算比較

科 目	R5 年度予算との差額(千円)		R4 年度決算との差額(千円)		
	収益	費用 *5	収益	費用	
受取会費収入	▲1,244	—	▲940*1	—	
事業	編集・出版	▲1,616*2	▲5,880	▲2,882*2	2,897*3
	研究会	▲6,101*5	▲7,783	5,292*3	6,539*3
	表彰	0	▲1,340	▲1,650*4	414
	会議費・旅費・通信費	—	▲1,859	—	837*3
	雑費	—	2,283*6	—	99

*1 受取会費減収内訳：個人▲983千円；法人▲140千円；学生+181千円

*2 広告収益▲1,000千円、複写権使用料収益▲1,332千円。

*3 創立 80 周年記念事業による。

*4 企業冠賞賛同 1 社減少。

*5 創立 80 周年記念事業が想定予算よりも縮小。

*6 I T 関連費の増加と決済手数料の増加。

表 1・6 令和5年度貸借対照表

令和5年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	83,453,097	85,299,878	▲ 1,846,781
未収収益	450,773	522,548	▲ 71,775
前払金	333,987	418,755	▲ 84,768
仮払金	282,722	120,960	161,762
流動資産合計	84,520,579	86,362,141	▲ 1,841,562
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	19,322,993	23,322,700	▲ 3,999,707
研究会事業特定資産	21,521,968	28,521,733	▲ 6,999,765
表彰事業特定資産	197,161,671	202,038,133	▲ 4,876,462
国際賞基金	6,257,047	9,980,890	▲ 3,723,843
Mukaiyama Award基金	4,436,131	4,234,696	201,435
退職給付引当特定資産	15,569,315	33,445,012	▲ 17,875,697
特定資産合計	264,269,125	301,543,164	▲ 37,274,039
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	269,094,409	306,368,448	▲ 37,274,039
資産合計	353,614,988	392,730,589	▲ 39,115,601
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,284,597	1,724,650	▲ 440,053
前受金	38,791,500	41,518,733	▲ 2,727,233
預り金	1,198,800	1,885,317	▲ 686,517
仮受金	39,000	450,000	▲ 411,000
流動負債合計	41,313,897	45,578,700	▲ 4,264,803
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,569,315	33,445,012	▲ 17,875,697
固定負債合計	15,569,315	33,445,012	▲ 17,875,697
負債合計	56,883,212	79,023,712	▲ 22,140,500
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	6,257,047	9,980,890	▲ 3,723,843
Mukaiyama Award基金	4,436,131	4,234,696	201,435
指定正味財産合計	10,693,178	14,215,586	▲ 3,522,408
(うち特定資産への充当額)	(10,693,178)	(14,215,586)	(▲ 3,522,408)
2. 一般正味財産	286,038,598	299,491,291	▲ 13,452,693
正味財産合計	296,731,776	313,706,877	▲ 16,975,101
負債及び正味財産合計	353,614,988	392,730,589	▲ 39,115,601

表 1・7 令和5年度貸借対照表内訳表

令和5年12月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集・出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					83,453,097	83,453,097
未収収益		218,000	226,666		6,107	450,773
前払金		11,727	17,380		304,880	333,987
仮払金		282,722				282,722
流動資産合計	0	512,449	244,046	0	83,764,084	84,520,579
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	19,322,993					19,322,993
研究会事業特定資産		21,521,968				21,521,968
表彰事業特定資産			197,161,671			197,161,671
国際賞基金			6,257,047			6,257,047
Mukaiyama Award 基金			4,436,131			4,436,131
退職給付引当特定資産					15,569,315	15,569,315
特定資産合計	19,322,993	21,521,968	207,854,849	0	15,569,315	264,269,125
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	19,322,993	21,521,968	207,854,849	0	20,394,599	269,094,409
資産合計	19,322,993	22,034,417	208,098,895	0	104,158,683	353,614,988
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金		421,947			862,650	1,284,597
前受金		66,000			38,725,500	38,791,500
預り金					1,198,800	1,198,800
仮受金					39,000	39,000
流動負債合計	0	487,947	0	0	40,825,950	41,313,897
2. 固定負債						
退職給付引当金					15,569,315	15,569,315
固定負債合計	0	0	0	0	15,569,315	15,569,315
負債合計	0	487,947	0	0	56,395,265	56,883,212
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			6,257,047			6,257,047
Mukaiyama Award 基金			4,436,131			4,436,131
指定正味財産合計			10,693,178			10,693,178
(うち特定資産への充当額)			(10,693,178)			(10,693,178)
2. 一般正味財産	19,322,993	21,546,470	197,405,717	0	47,763,418	286,038,598
正味財産合計	19,322,993	21,546,470	208,098,895	0	47,763,418	296,731,776
負債及び正味財産合計	19,322,993	22,034,417	208,098,895	0	104,158,683	353,614,988

表 1・8 附属明細書

(単位：円)

1. 特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	23,322,700	293	4,000,000	19,322,993
	研究会事業特定資産	28,521,733	235	7,000,000	21,521,968
	表彰事業特定資産	202,038,133	123,538	5,000,000	197,161,671
	国際賞基金	9,980,890	78	3,723,921	6,257,047
	Mukaiyama Award 基金	4,234,696	1,300,049	1,098,614	4,436,131
	退職給付引当特定資産	33,445,012	796,501	18,672,198	15,569,315
	特定資産計	301,543,164	2,220,694	39,494,733	264,269,125

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	33,445,012	796,501	18,672,198	0	15,569,315

表 1・9 財産目録

令和5年12月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額 (円)
1 【流動資産】				
2 預金	振替貯金		運転資金	2,301,472
3	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	27,426,354
4	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	5,802,967
5	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	450,001
6	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	17,708,401
7	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	運転資金	2,252,042
8	普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	運転資金	140,938
9	普通預金	北海道支部	運転資金	689,905
10	普通預金	東北支部	運転資金	2,288,751
11	普通預金	関東支部	運転資金	7,757,027
12	普通預金	東海支部	運転資金	2,546,058
13	普通預金	関西支部	運転資金	5,344,222
14	普通預金	中国四国支部	運転資金	4,859,172
15	普通預金	九州山口支部	運転資金	3,885,787
16 未収収益				450,773
17 前払金				333,987
18 仮払金				282,722
19 流動資産合計				84,520,579
20 【固定資産】				
21 特定資産				
22 編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	2,094,126
23	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	7,228,867
24	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集・出版事業の財源として使用している	10,000,000
25 研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	21,521,968
26 表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,204,905
27	普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	2,450,931
28	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000
29	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
30		第372回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,505,835
31		東京都公募公債第786回	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000
32		千葉県平成29年度第3回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000
33 退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		3,969,315
34	定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		11,600,000
35 国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	6,257,047
36 Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	4,436,131
37 その他固定資産	差入保証金			4,698,000
38	電話加入金			127,284
39 固定資産合計				269,094,409
40 資産合計				353,614,988
41 【流動負債】				
42 未払金				1,284,597
43 前受金				38,791,500
44 預り金				1,198,800
45 仮受金				39,000
46 流動負債合計				41,313,897
47 【固定負債】				
48 退職給付引当金				15,569,315
49 固定負債合計				15,569,315
50 負債合計				56,883,212
51 正味財産				296,731,776

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンスリース：リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	23,322,700	293	4,000,000	19,322,993
研究会事業特定資産	28,521,733	235	7,000,000	21,521,968
表彰事業特定資産	202,038,133	123,538	5,000,000	197,161,671
国際賞基金	9,980,890	78	3,723,921	6,257,047
Mukaiyama Award 基金	4,234,696	1,300,049	1,098,614	4,436,131
退職給付引当特定資産	33,445,012	796,501	18,672,198	15,569,315
合 計	301,543,164	2,220,694	39,494,733	264,269,125

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
編集出版事業特定資産	19,322,993	0	19,322,993	
研究会事業特定資産	21,521,968	0	21,521,968	
表彰事業特定資産	197,161,671	0	197,161,671	
国際賞基金	6,257,047	6,257,047	0	
Mukaiyama Award 基金	4,436,131	4,436,131	0	
退職給付引当特定資産	15,569,315	0	0	15,569,315
合 計	264,269,125	10,693,178	238,006,632	15,569,315

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	100,549,670	101,695,000	1,145,330
地方債	70,000,000	69,582,360	▲ 417,640
合 計	170,549,670	171,277,360	727,690

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	3,723,921
Mukaiyama Award 事業費計上による振替額	1,098,614
合 計	4,822,535

第2号議案 令和6年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員13名が退任となるので、定款第23条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表2)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任理事および監事(太字表記13名)を選任する。また、定款第23条第2項に基づき、副会長候補者(太字下線表記2名)を選出する。なお、この2名は2月度理事会においてそれぞれ副会長として選任される予定である。

表2 令和5年度役員および令和6年度役員候補者対照表(敬称略)

役職区分	令和6年度				
	令和5年度(参考)		新任候補	重任候補	所属
	退任	留任			
会長・代表理事		生頼 一彦			日産化学(株)
副会長・業務執行理事		袖岡 幹子			理化学研究所
副会長・業務執行理事	須貝 威		林 雄二郎		東北大学
副会長・業務執行理事	大野 充			青木 一真	第一三共(株)
常務理事(事務局長)	—	永井 一郎			有機合成化学協会
理事(編集担当)	荒井 孝義		柴田 高範		早稲田大学
理事(編集担当)		大森 建			東京工業大学
理事(事業担当)	高尾 賢一		松本 隆司		東京薬科大学
理事(事業担当)		三谷 晃			日本曹達(株)
理事	朝倉 光博			朝倉 光博	(株)ナード研究所
理事	青木 一真		大野 充^{*1}		(株)ダイヤセル
理事	江口 久雄		神子島佳子		第一三共(株)
理事	古内 剛		釣谷 孝之		塩野義製薬(株)
理事		井上 将行			東京大学
理事		垣内 史敏			慶應義塾大学
理事		高柳 大			味の素(株)
理事(北海道支部)		市川 聡			北海道大学
理事(東北支部)	服部徹太郎		瀧宮 和男		東北大学
理事(関東支部)	草間 博之		大林 達彦		富士フイルム(株)
理事(関東支部)		長澤 和夫			東京農工大学
理事(東海支部)		柴田 哲男			名古屋工業大学
理事(関西支部)	白川 英二		椿 一典		京都府立大学
理事(関西支部)		深瀬 浩一			大阪大学
理事(中国四国支部)		依馬 正			岡山大学
理事(九州山口支部)	桑野 良一		入江 亮		熊本大学
監事		千田 憲孝			慶應義塾大学
監事		家田 成			十全化学(株)
監事	満田 勝		古内 剛		Meiji Seika ファルマ(株)
人数	13	15	11	2	

*1 補欠選任任期満了につき退任のち新任

第3号議案 名誉会員委嘱の件

定款第5条第5項および名誉会員の委嘱に係る内規2.(2)の定めに基づき、令和5年12月度理事会で名誉会員としての推薦を決議した次の会員に、名誉会員を委嘱する。

表3-1 令和6年度名誉会員推挙候補者(敬称略)

氏名(年齢)	生年月日	称号・勤務先	推挙の事由
奈良坂 紘一 (79)	1944.05.06	東京大学名誉教授	(2)特別賞受賞者

表3-2 名誉会員一覧(令和6年2月15日現在、委嘱年月日順、敬称略)

No.	氏名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12		ノーベル賞
2	野依 良治	科学技術振興機構センター長	2002.02.19	1938.09.03	97-98	2000
3	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
4	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
5	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
6	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2005
7	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	2014
8	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
9	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・栄誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
10	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
11	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2008
12	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	07-08	
13	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2016.02.18	1935.07.12		ノーベル賞
14	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
15	園頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.5		2016
16	山本 嘉則	東北大学名誉教授	2019.02.14	1942.11.21		2018
17	福山 透	東京大学名誉教授	2019.02.14	1948.08.09	09-10	2021
18	櫻井 英樹	東北大学名誉教授	2020.02.19	1931.05.16		2019
19	柴崎 正勝	(公財)微生物化学研究会理事長・所長	2020.02.19	1947.01.25		2010
20	佐藤 幸蔵	(株)NIL 代表取締役社長	2020.02.19	1949.03.08	15-16	
21	塩入 孝之	名古屋市立大学名誉教授	2021.02.17	1935.08.05		2020
22	伊関 克彦	東レ(株)技術センター 顧問	2022.02.16	1951.06.08	11-12	
23	鳥居 滋	岡山大学名誉教授	2023.02.15	1932.06.25		2022
24	奈良坂 紘一	東京大学名誉教授	2024.02.15	1944.05.06		2023

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告1 令和5年度事業報告（令和5年1月1日から令和5年12月31日まで）

定款第39条第1項および第2項に定めるところにより、令和6年1月度理事会で承認された令和5年度事業報告について、次のとおり報告をする。

1. 令和5年度通常総会(第86回)

- ✓ 令和5年2月15日 如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)99名中、出席者90名(本人出席4；代理人出席0；委任状・書面表決86)
- ✓ 決議事項
 - 第1号議案 『令和4年度決算報告承認』の件
 - 第2号議案 『令和5年度役員選任』の件
 - 第3号議案 『名誉会員委嘱』の件
- ✓ 報告事項
 - 報告1. 『令和4年度事業報告』
 - 報告2. 『令和5年度事業計画報告』
 - 報告3. 『令和5年度収支予算報告』
 - 報告4. 『永年会員昇格者報告』

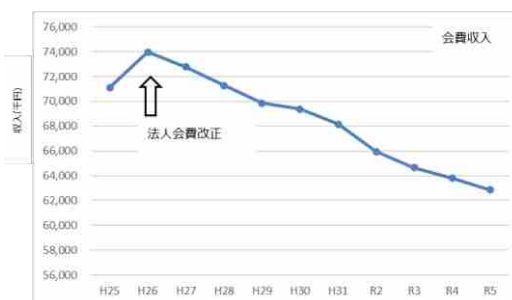
2. 会員動向

表4 会員数動向

区分	R4年末	入会	復活	退会	区分変更	異動計	R5年末	
普通会員	個人	3,063	69		▲72	42 ▲19	20	3,083
	法人	217	3		▲4		▲1	216
	団体	3					0	3
普通会員計	3,283	72		▲76	42 ▲19	19	3,302	
永年会員	181			▲9	19 ▲1	9	190	
名誉会員	24			▲2	1	▲1	23	
学生会員	483	237		▲88		▲42	107	590
合計	3,971	309		▲175			134	4,105

会費収入の経年変化

令和5年度の会費収入は、前年対比▲940千円となった。学生会費収入が今期は微増に転じたものの普通会員(個人)会費収入の減少に歯止めがかからず、引き続き減少が続いている。



参考 会費収入の推移 (単位：千円)

会員種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
個人会員	41,427	40,535	39,688	38,488	37,237	36,643	35,261	34,556	33,344	32,537	31,556
法人会員	26,200	30,259	30,190	29,967	29,630	29,650	29,825	29,410	29,110	29,170	29,030
団体会員	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160	160
学生会員	3,321	3,003	2,742	2,666	2,830	2,910	2,900	1,827	2,028	1,930	2,111
合計	71,108	73,957	72,780	71,281	69,857	69,363	68,146	65,953	64,642	63,797	62,857
前年との差	-	2,849	-1,177	-1,499	-1,424	-494	-1,217	-2,193	-1,311	-845	-940

3. 事業報告

令和5年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表5のとおり報告する。

公1・編集出版事業(14頁)

公2・研究会事業

シンポジウム

本部(14頁)

北海道支部(15頁)

東北支部(15頁)

関東支部(15頁)

東海支部(16頁)

関西支部(16頁)

中国・四国支部(17頁)

九州・山口支部(17頁)

講習会

本部(18頁)

東北支部(18頁)

関西支部(18頁)

懇談会

本部(18頁)

関東支部(19頁)

東海支部(20頁)

関西支部(20頁)

中国・四国支部(20頁)

九州・山口支部(21頁)

見学会

本部(21頁)

九州・山口支部(21頁)

公3・表彰事業

有機合成化学特別賞(22頁)

有機合成化学協会賞・奨励賞(22頁)

Mukaiyama Award(22頁)

Lectureship Award(22頁)

企業冠賞(22頁)

高砂香料国際賞「野依賞」(23頁)

支部表彰 東北支部(23頁)

関西支部(23頁)

中国・四国支部(23頁)

九州・山口支部(23頁)

他1・共益事業

ゆうこう会・その他(23頁)

研究企画賞(24頁)

表 5・1 令和 5 年度事業報告 (その 1)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
<p>公 1・編集出版事業</p> <p>有機合成化学協会誌</p> <p>第 81 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,400 部、総頁数 1,336 普通号 10 回 ; 特集号 2 回(第 5 号「日本の誇るハロゲン資源 : ハロゲンの反応と機能」 ; 第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容 : 巻頭言 12 頁(12 件)、総説 12(1)、総合論文 704(68)、Review de Debut 22(11)、ラウンジ 63(3)、ケミカルズ覚え書き 17(5)、十字路 11(44)、感動の瞬間・MyPR 51(14)、新しい合成 41(164)、会告・協会記事等 259、広告 119 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2023 年度分を掲載。</p> <p>単行本の編集・出版</p> <p>創立 80 周年記念出版 「ドラマチック有機合成化学 – 感動の瞬間 100 – 」有機合成化学協会編 ; (株)化学同人発行</p> <p>公 1 関連会議</p> <p>有機合成化学協会誌編集委員会(1/17, 3/17, 7/11, 9/28, 12/5)化学会館・オンライン併用、(5/16)化学会館</p>	
<p>公 2・研究会事業</p> <p>シンポジウム【本部】</p> <p>第 122 回有機合成シンポジウム ; 7/19-20 ; 東工大蔵前会館・くらまえホール 受賞講演【2022 年度有機合成化学協会賞 (技術的なもの)】 不斉有機触媒を用いる神経障害性疼痛薬ミロガバリンの高効率の合成法の開発 (第一三共) 鶴飼和利 口頭発表 33 件 ; ポスター発表 29 件 優秀ポスター賞 3 件表彰 共催 : 日本化学会, 日本薬学会, 後援 : 日本農芸化学会</p> <p>創立 80 周年記念事業 (記念式典・記念国際シンポジウム) 記念式典 ; 7/20, 記念国際シンポジウム ; 7/21 ; 東工大蔵前会館・くらまえホール 【特別講演】 1.Asymmetric Catalysis with Peptides (ETH Zürich) Helma Wennemers 2.C-H Amidation Reactions via Nitrenoid Transfer: Scope and Mechanistic Aspects (KAIST) Sukbok Chang 【招待講演】 1.Design and Optimization of Mechanochemical Reactions: Exploring New Horizons in Organic Synthesis (WPI-ICReDD, Hokkaido Univ.) Hajime Ito 2.Radical-Based Approach for Synthesis of Complex Natural Products (The University of Tokyo) Masayuki Inoue 3.Chirality-switchable Helical Macromolecular Catalysts for Asymmetric Synthesis (Kyoto Univ.) Michinori Suginome 4.Chemistry for Imaging and Target Identification of Bioactive Small Molecules (RIKEN) Mikiko Sodeoka 5.Chiral Phosphoric Acids as Versatile Enantioselective Catalysts (Tohoku Univ.) Masahiro Terada 6.Collective synthesis of natural products for elucidation of new biological activities (Nagoya Univ.) Toshio Nishikawa</p>	<p>184(76)</p> <p>式典 199(0) シンポジウム 267(68)</p>
<p>第 123 回有機合成シンポジウム ; 11/7-8 ; 早稲田大学国際会議場 オーラル&ポスター発表 32 件 ; ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)14 件 合計 46 件 優秀ポスター賞 5 件表彰 共催 : 日本化学会, 日本薬学会, 早稲田大学理工学術院総合研究所, 後援 : 日本農芸化学会</p>	<p>153(80)</p>

表 5.2 令和 5 年度事業報告 (その 2)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【北海道支部】	
<p>第 35 回万有札幌シンポジウム; 7/1; 北海道大学・オンライン併用</p> <p>1.新反応開発: 結合活性化から求核触媒の新展開まで (阪大院工) 鷹巣守</p> <p>2.分子の自己集合制御が実現する未踏メソスケールマテリアル (千葉大国際高等研究基幹) 矢貝史樹</p> <p>3.天然物に学ぶケミカルバイオロジー研究 (慶大理工) 荒井緑</p> <p>4.反応経路自動探索法を用いた新反応の設計とその実現-挑戦と今後の課題(北大WPI-ICReDD)美多剛</p> <p>5.生体内の化学秩序に介入する触媒 (東大院薬) 金井求</p> <p>ポスター発表 22 件; 主催: 万有札幌シンポジウム組織委員会</p>	(-)
<p>日本化学会北海道支部夏季研究発表会</p>	(-)
<p>若手研究者のための有機化学札幌セミナー; 11/1; 北海道大学薬学部</p> <p>1.銅(I)触媒を用いた多置換アリルホウ素化合物の立体選択的合成法の開発 (富士フィルム) 小澤友</p> <p>2.化合物の配座制御を志向した反応開発: 遠隔不斉誘導とモノフルオロアルキル化 (北大院薬) 森崎一宏</p> <p>3.高い有機触媒による不斉ヒドロ官能基化反応の開発 (北大 ICReDD) 辻信弥</p> <p>4.有機カチオン化学の開拓と機能探究 (北大院理) 石垣侑祐</p> <p>5.化学修飾と指向性進化工学を活用したタンパク質エンジニアリング: 人工金属酵素とバイオ材料への応用 (北大院地球環境科学) 小野田晃</p>	195(159)
シンポジウム【東北支部】	
<p>第 34 回万有仙台シンポジウム; 4/22; 東北大学百周年記念講堂川内萩ホール・オンライン併用</p> <p>・超原子価ヨウ素化合物の新しい反応と合成 (東北大院薬) 吉戒直彦</p> <p>・タンデムボウ Friedel-Crafts 反応を鍵とした次世代有機 EL 材料の開発 (京大院理) 畠山琢次</p> <p>・官能基標的触媒による化学選択性の制御 (九大院薬) 大嶋孝志</p> <p>・タンパク質分解を誘導する化合物 (東大院薬) 内藤幹彦</p> <p>・生体内合成化学治療 (東工大物質理工) 田中克典</p> <p>ポスター発表 21 件; 主催: 万有仙台シンポジウム組織委員会</p>	473(319)
<p>仙台地区秋の講演会; 5/20; 東北大学理学部大講義室・オンライン併用</p> <p>1.有機触媒による精密分子変換の開発研究 - 不斉ハロゲン化の化学について - (静岡県大) 濱島義隆</p> <p>2.真に実用的な医薬品合成プロセスへの挑戦 (第一三共) 中村嘉孝</p> <p>3.神経変性疾患治療を目指した有機化学的アプローチ (東北大院生命) 石川稔</p>	145(100)
<p>令和 5 年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部 80 周年記念国際会議; 9/8-10; 東北大学農学部青葉山コモンズ; 主催: 日本化学会東北支部</p> <p>澤村正也 (北大院理), 近藤梓 (東北大院理), 石田真太郎 (東北大院理), 田中信也 (東北大院工), 竹内大介 (弘前大理工), 櫻井英博 (阪大院工), 北本雄一 (東北大院工), 辻原哲也 (岩手医大薬), Krishna P. Kaliappan (インド工科大ボンベイ), Dokyoung Kim (Kyung Hee 大), 佐藤隆章 (慶應大理工), 目黒康洋 (東北大院農), 眞鍋史乃 (星薬科大薬, 東北大院薬), 田上克也 (エーザイ), 加納太一 (東京農工大院工), 安立昌篤 (東北大院薬), 徳山英利 (東北大院薬), 有機化学関連ポスター発表 137 件</p>	855(528)
<p>第 38 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー; 12/9; 東北大学農学部青葉山コモンズ大講義室・オンライン併用; 発表件数 14 件</p>	144(113)
シンポジウム【関東支部】	
<p>第 84 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(東京農工大シンポジウム)</p> <p>5/13; 東京農工大学; 特別講演 2 件、一般研究発表 81 件</p> <p>1.芳香族トリフルオロメチル化反応: 開発・深化・展開 (群馬大院理工) 網井秀樹</p> <p>2.ナノカーボン分子を巡る有機化学 (東大院理) 磯部寛之</p>	303(163)
<p>第 85 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム)</p> <p>11/25-26; 新潟大学工学部; 特別講演 3 件、一般研究発表 72 件</p> <p>1.原薬開発研究におけるプロセスケミストリーの醍醐味 (エーザイ) 栢野明生</p> <p>2.シリルケトン・イミン類の光反応過程を活用する炭素-炭素結合形成反応 (学習院大理) 草間博之</p> <p>3.可視光フロー反応によるフルオロアルキル化合物の合成法の開発 (お茶女大理) 矢島知子</p>	166(87)

表 5・3 令和 5 年度事業報告 (その 3)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム【関東支部】のつづき	
<p>若手研究者のためのセミナー；8/5；東京大学薬学系総合研究棟・オンライン併用</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.EDA 錯体を利用した新規可視光駆動型ラジカル反応の開発（学習院大理）内倉達裕 2.有機電子供与剤による還元的分子変換反応の開発（産総研）熊田佳菜子 3.マルスペリン類の全合成と低原子価チタンを用いた新規還元的カップリング反応の開発(明治薬大)松永和磨 4.有機合成化学による抗体の位置選択的修飾法 AJICAP®の開発（味の素）藤井友博 5.ワンポット-クライゼン転位/分子内アルドール反応を用いた Lucidumone の簡便合成（東薬大生命科学）川本諭一郎 6.架橋多環式天然物群の多様の合成戦略の発展（北里大大村智記念研究所）千成恒 	130(68)
シンポジウム【東海支部】	
<p>有機合成セミナー；9/1；三重大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.化学資源変革を目指す有機合成－鐵と森で俵せな未来を！－（京大）中村正治 2.典型元素の特長を活かした構造制御による新反応開発（阪大）安田誠 	40(33)
<p>若手研究者のためのセミナー；8/19；岐阜薬科大学</p> <p>【支部奨励賞受賞講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.シアル酸含有糖鎖の化学合成研究とケミカルバイオロジーへの応用（岐阜大）河村奈緒子 2.ペプチド・タンパク質化学合成に資する化学選択的分子技術の開発（静岡大院工）佐藤浩平 <p>【招待講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.創薬を指向した化学空間の開拓（金沢大院薬）平野圭一 2.触媒設計で拓く新反応開発：キラル含フッ素化合物合成法（静岡県大薬）濱島義隆 	58(32)
第 54 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会；11/11-12；三重大学	418(278)
<p>第 54 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；11/11-12；三重大学</p> <p>【特別討論会】「SDGs 時代の有機化学」</p> <p><招待講演></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.SDGs 時代に生き残る触媒開発（名大）石原一彰 2.新しいデバイスを利用した SDGs 対応型化学変換法の開発（岐阜薬大）佐治木弘尚 <p><依頼講演></p> <ol style="list-style-type: none"> 1.イオンと電子移動の組み合わせによる新反応～なぜ新しい反応を開発するのか？～（名大）大松亨介 2.二酸化硫黄等価体を用いるスルフィド合成（静岡県大）小西英之 3.重金属フリーな光還元による炭素－硫黄結合の炭素ラジカル源としての利用（静岡大）仙石哲也 4.有機分子触媒を用いる高度分子変換反応の開発（岐阜医療科学大）萬代大樹 	80(-)
<p>有機合成化学総合講演会；12/19；名古屋工業大学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.まぜる、あたためる、きれいにする～有機合成の新常識～（岐阜薬大）井川貴詞 2.13 族元素を含む新結合と新反応（名大）山下誠 3.ラジカルが拓く新触媒・新反応・新機能（京大）大宮寛久 	36(23)
シンポジウム【関西支部】	
<p>第 43 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー)</p> <p>8/8；京都工芸繊維大学；発表件数（ポスター）77 件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.新反応開発：結合活性化から求核触媒の新展開まで（阪大院工）鷹巣守 2.多環天然・非天然分子に着想を得た新反応と機能性分子の開発（京大院薬）瀧川紘 3.生物活性発見を見据えた含窒素分子の反応開発（関西学院大理）村上慧 4.量子化学計算に基づくインシリコ創薬（阪大院薬）福澤薫 5.フロー合成の医薬品開発研究への応用と連続生産に向けて（浜理薬品工業）川本哲治 6.典型元素不飽和結合を軸とする新反応，機能性分子の開発（岐阜大工）村井利昭 	184(125)
<p>2023 年度有機合成化学北陸セミナー；10/20-21；石川県青少年総合研修センター</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.新規抗がん療法の開発を目指した複合的アプローチ（阪大院理）深瀬浩一 2.ピアリール型アミノ酸の創製からカルコゲン結合による触媒構造制御への展開（京都薬大）古田巧 3.商品開発のための有機合成技術（ダイセル）北山健司 <p>発表件数（口頭）12 件；（ポスター）54 件</p>	156(118)

表 5・4 令和 5 年度事業報告 (その 4)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生 数)
<p>シンポジウム【関西支部】のつづき</p> <p>第 39 回有機合成化学セミナー；9/20-22；淡路夢舞台国際会議場／グランドニッコー淡路</p> <p>【招待講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.キラル分子科学の新局面（九大先導物質研）友岡克彦 2.触媒開発で拓くキラルフッ素含有化合物の合成（静岡県大薬）濱島義隆 3.可視光パルフルオロアルキル化反応の開発とその展開（お茶女大理）矢島知子 4.ポルフィリンの新合成化学と機能探求：反芳香族ポルフィリンの化学（名大院工）忍久保洋 5.四座 PNNP 配位子に支持された 3d 金属錯体を用いた結合切断反応とその応用（東工大物質理工）中島裕美子 6.SHIONOGI における感染症治療薬のプロセス開発の事例紹介（塩野義製薬）釣谷孝之 7.芳香環の高エンタチオ選択的水素化（九大院理）桑野良一 8.芳香環構築によるキラルナノカーボンの触媒的不斉合成（東工大物質理工）田中健 <p>【令和 4 年度有機合成化学協会奨励賞】受賞講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.実践的合成法開発による機能性有機ヒ素化学の展開（京工繊大分子化学）井本裕顕 2.脱芳香族化反応を活用した多環性縮環型アルカロイド類の合成研究（東農工大院工）小田木陽 3.金属種を活用した奇数員環構築が拓く新しい非交互炭化水素類の合成と機能解明（阪大院工）小西彬仁 4.<i>m</i>-キノジメタンを基盤とする縮合多環ジラジカルの創出（阪大院基礎工）清水章弘 5.複合糖質の化学合成が拓く細菌-宿主間ケミカルエコロジー（阪大院理）下山敦史 <p>【2023 Mukaiyama Award】受賞講演</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.Necessity is the Mother of Invention: Natural Products and the Chemistry They Inspire (California Institute of Technology) Sarah E. Reisman 2.特殊ヘテロ環の化学（慶大薬）熊谷直哉 <p>【2023 Lectureship】受賞講演（延期；R6.1/26 オンライン）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「Recent Adventures in Catalysis and Beyond」(ETH Zürich) Bill Morandi <p>ポスター発表：91 件；共催本部</p>	<p>205(104)</p>
<p>シンポジウム【中国・四国支部】</p> <p>若手研究者のためのセミナー(第 37 回若手化学者のための化学道場)；9/5-6；JMS アステールプラザ；世話人：広島大学</p> <p>【特別指南講演】</p> <p>化学選択性の触媒制御への挑戦、そしてデジタル有機合成へ（九大）大嶋孝志</p> <p>【師範講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.π 共役系ポリマーに魅せられて～ポリマー鎖の配列制御とデバイスの高機能化～（広島大）尾坂格 2.フラビン触媒による分子状酸素駆動型反応の開発（島根大）飯田拓基 3.糖を原料として用いた機能性超分子材料の開発（高知大）越智里香 4.カリックス[5]アレーンとフラレンの超分子錯形成を駆動力とした分子集合体の合成（広島大）平尾岳大 5.グリーン有機分子変換プロセスを指向した担持金属触媒の開発（香川大）和田健司 6.コロナ禍のポストク留学体験（徳島大）佐藤亮太 7.ホウ素アート錯体のメタレート転位を中心とする分子構築（岡山大）溝口玄樹 <p>学生発表件数：32 件</p>	<p>56(36)</p>
<p>シンポジウム【九州・山口支部】</p> <p>第 35 回若手研究者のためのセミナー；8/19；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I</p> <p>特別講演 1 件</p> <p>アレコケミカルから重力屈性阻害剤へー有機合成化学者が植物生理学に関わった話(九大先導研)新藤充</p> <p>招待講演 1 件</p> <p>ヘテロ元素を含む基底開設一重項ジラジカロイドの化学の新展開（滋賀県立大工）加藤真一郎</p> <p>受賞講演（ポスター賞）8 件；企業紹介 2 件</p>	<p>84(58)</p>

表 5・5 令和 5 年度事業報告 (その 5)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
講習会【本部】	
2023 年度 有機合成化学講習会；11/16；化学会館；テーマ：『有機フッ素化学の多様な有機合成』 ◇講義 1.ルイス酸を活用した炭素-フッ素結合の活性化による有機フッ素化合物の新しい合成法（阪大院工）西本能弘 2.フッ素の特性を活かした反応およびドラッグデリバリーシステムの開発（東大院工）相川光介 3.複合糖質の機能改変：フッ素原子のポテンシャルを検証する（九大院薬）平井剛 4.含フッ素超原子価硫黄化合物の合成（名工大院工）柴田哲男 ◇情報交換・交流会 共催：日本化学会,日本薬学会,協賛：日本フッ素化学会,後援：日本農芸化学会	36(8)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 11 回勉強会；6/21；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 1.天然物が織り成す化合物潜在空間が拓く生物活性分子デザイン（阪大院工）菊地和也 2.化合物潜在空間の構築によるパーチャル化合物構造の探索と設計（慶大理工）榎原康文 3.グラフ深層学習を用いた有機合成のための AI 基盤（京大院医）小島諒介	121(5)
「AIと有機合成化学」研究部会 第 12 回勉強会；11/13；ワイム貸会議室お茶の水・オンライン併用 テーマ『Python による化合物データを用いた予測モデルの構築と利用法』 講師；小島諒介（京大院医）；1.講義（座学），2.デモ実演と実習（ハンズオン）	85(6)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 9 回勉強会；9/29；連合会館 1.有機合成化学の矜持で生体高分子を修飾する（星薬大・東北大院薬）眞鍋史乃 2.天然植物毒によるリン酸化依存的な蛋白質間相互作用の操作（信州大院農）大神田淳子 3. In vivo 有機化学のケミカルバイオロジーで拓くコバレントドラッグ創薬（九大院薬）王子田彰夫	35(0)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会 第 10 回勉強会；11/27；ワイム貸会議室お茶の水 1.新規モダリティとしての siRNA 核酸医薬品（東大院理）程久美子 2.神経変性疾患治療を目指した有機化学的アプローチ（東北大院生命科学）石川稔 3.自己集合体のケミカルバイオロジー（京大化研/iCeMS）上杉志成	28(0)
講習会【東北支部】	
岩手地区講演会；11/1；岩手大学理工学部一祐会館大会議室 1.クルクミンをシードとする新規有機低分子の合成と破骨細胞形成阻害活性（岩手医大薬）河野富一 2.合成化学者は加水分解酵素リパーゼを不斉合成にどのように活用しうるか？（阪大院薬）赤井周司	42(35)
福島地区講演会；12/15；日本大学工学部 6 2 号館 3 階 AV 講義室 1.有機合成化学のバイオロジー研究への応用（東大院医）松本桂彦 2.セルロースを活用した糖鎖固定化ゲルナノ粒子の合成と分子認識材料としての利用(福島大食農)尾形慎	60(50)
講習会【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2023」；1/30；大阪科学技術センター 1.パラジウム触媒による含ケイ素環状化合物合成の新展開（阪大院基礎工）新谷亮 2.経口医薬品の創製～SGLT2 阻害薬 TA-7284(canagliflozin)と MC1R 作動薬 MT-7117 (dersimelagon) を例に～（田辺三菱製薬）山元康王 3.π 拡張 8 員環の「羽ばたき」を活かした材料展開と 5 つの合成アプローチ（京大院理）齊藤尚平 4.ヘテロ原子含有 π 共役化合物の合成と機能～ベンゼン(六角形)をヘテロ環や正多角形に置き換える～（兵庫県大院理）三宅由寛 5.HIF-Prolyl Hydroxylase 阻害薬エナロデュスタット(エナロイ®)の創製（日本たばこ産業）生越洋介 6.ユニークな pH・温度応答性を示す樹状高分子の合成と DDS への展開（阪公立大院工）児島千恵 7.生体分子の構造変換ダイナミズムへ介入する化学触媒（東大院薬）金井求	56(24)
懇談会【本部】	
2023 新春特別フォーラム；1/18；ワイム貸会議室お茶の水・山の上ホテル [第 I 部 講演] 基調講演(1)「革新的な新薬創出に向けて～田辺三菱製薬の挑戦～」(田辺三菱製薬) 上野裕明 基調講演(2)「結晶スポンジ法：原理の創出から社会実装まで」(東大) 藤田誠	45(0)

表 5・6 令和 5 年度事業報告 (その 6)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【本部】のつづき	
前ページのつづき [第Ⅱ部 賀詞交換会] 着席形式 共催：有機合成化学協会関東支部	
第 2 回「ニューモダリティと有機合成化学」公開講演会；5/18；東京工業大学デジタル多目的ホール 1.AJICAP®：位置特異的 ADC の次世代化学合成法および安定性付与リンカーの開発 (味の素) 奥住竜哉 2.ナノテクノロジーが拓く未来医療：体内で薬を運び、作り、操る分子技術の開発 (川崎市産業振興財団) 片岡一則 3.核酸標的的低分子創製の考え方 (阪大産研) 中谷和彦 4.医薬品創製における新規モダリティープラットフォーム開発 (中外製薬) 山田尚文	61(4)
2023 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演 & 討論会)；10/27；早稲田大学リサーチイノベーションセンター/コマツ 100 周年記念ホール・会議室 [第Ⅰ部：講演] 1.研究視点から見た経営論～“あったらいいな”と“なくてはならない”経営の比較～ (小林製薬) 松嶋雄司 2.天然物の全合成：独創性の追求と挫折と妥協と光明 (北大院理) 谷野圭持 [第Ⅱ部：グループ討論] [第Ⅲ部：情報交換・交流会]	78(0)
学生のためのセミナー (企業の若手研究者との討論・交流会)・第 8 弾；10/28；オンライン 1.パネラーのプレゼンテーション (1)浅場絢メッツ (東レ)，(2)阪口博信 (AGC)，(3)崎山訓史 (日本曹達)， (4)佐藤亮 (アステラス製薬)，(5)竹内孝輔 (第一三共)，(6)山賀英臣 (三菱ケミカル)， (7)渡邊義一 (武田薬品工業) 2.ブレイクアウトルーム懇談会 3.全体総括	61(61)
令和 4 年(2022 年)度企業冠賞受賞講演会；10/4；オンライン；受賞講演 4 件 1.【カナカ・生命科学賞】 生体寛容性人工金属酵素の開発を基盤とした生体内合成化学治療(東工大物質理工/理研)田中克典 2.【東ソー・環境エネルギー賞】 環境調和に立脚した二酸化炭素を炭素源とする触媒的有機合成反応の開発 (京大院工) 藤原哲晶 3.【日産化学・有機合成新反応/手法賞】 拡張 π 共役分子の迅速合成を可能にするロジウム触媒を用いた縫合反応の開発(阪大院基礎工)新谷亮 4.【富士フイルム・機能性材料化学賞】 高速スピン変換を基軸とする革新的有機発光材料の創製 (九大高等院) 安田琢磨	173(12)
懇談会【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/28；東京理科大学・オンライン併用 1.映像分子科学：分子を見て化学する (東大院理) 中村栄一	172(98)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2023)；11/17；千葉大学 1.大村天然物をターゲットとした効率的合成と有用生物活性物質のリード探索 (北里大大村智記念研) 廣瀬友靖 2.医薬品製造におけるケミストの関わり (キッセイ薬品工業) 曽根原順一 3.天然物に学ぶ有機合成化学の新展開を目指して (東大院理) 大栗博毅	74(48)
有機合成化学ミニシンポジウム④(ミニシンポジウム多摩 2023)；11/11；工学院大学(共催) 1.ショート・トーク 1) α -ジアゾエステルの化学 (工学院大先進工) 安井英子 2)ノーベル賞化学をもっと便利に (工学院大先進工) 坂田優希 3)八王子発の天然有機化合物の探索研究 (工学院大先進工) 大野修 2.誰でも手軽に行える高選択的反応の開発を目指して (武蔵野大薬) 穴田仁洋	84(59)

表 5・7 令和 5 年度事業報告 (その 7)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【関東支部】のつづき	
前ページのつづき 3.不斉触媒で新規化合物を合成する化学を目指して(千葉大院理) 荒井孝義 4.分子内野崎-檜山-高井-岸反応を用いた天然物の全合成(慶大理工) 高尾賢一	
合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム－憧憬から目標へ－」; 12/16; オンライン 1.キラル超原子価ハロゲン化合物を触媒とする不斉合成(千葉大院工) 吉田泰志 2.塩基性窒素を持たない fB オピオイド受容体逆作動薬、作動薬の創出(北里大薬) 平山重人 3.天然物合成から沙漠土壌の緑地化研究へ(徳島大院薬) 難波康祐 4.ホウ素のルイス酸性が制御する合成化学(広島大院先進理工) 吉田拡人 5.高難度酸化反応を基盤としたアルカロイドの全合成(東北大院薬) 徳山英利	180(137)
第 18 回有機合成化学談話会(三島セミナー2023); 12/22-23; 東レ三島総合研修センター 1.医薬品研究開発とライセンス(帝人ファーマ) 竹之内一弥 2.合成とものとりが拓く天然物ケミカルバイオロジー(慶大理工) 荒井緑 3.一期一会; 夢のある天然物創薬(北里大大村智記念研究所) 砂塚敏明 4.グリーンでグリーンな反応の開発ー C-H 結合官能基化の新技术ー(慶大理工) 垣内史敏 ポスター発表 6 件	23(10)
懇談会【東海支部】	
訪日学者講演会; 1/16; 岐阜薬科大学 Tamim Darwish, Ph.D. Director (The National Deuteration Facility (NDF), Australian Nuclear Science and Technology Organization (ANSTO), Sydney, Australia)	45(29)
訪日学者講演会; 3/9; 名古屋工業大学 Prof. Dr. Bernhard Witulski (CNRS UMR 6507, ENSICAEN & UNICAEN, Univ. Normandie ,France)	20(15)
訪日学者講演会; 7/14; 名古屋大学 Prof. Dr. Ying Yeung YEUNG (The Chinese University of Hong Kong, China)	83(71)
訪日学者講演会; 9/28; 名古屋大学 Prof. Dr. Thomas Wirth (School of Chemistry, Cardiff University, UK)	83(74)
訪日学者講演会; 12/4; 岐阜薬科大学 Dr. Michael Moir (Organic Synthetic Chemist, National Deuteration Facility, ANSTO, Australia)	31(21)
懇談会【関西支部】	
有機合成早春講演会; 3/29; 大阪科学技術センター 1.ヘテロ原子の特性を活かした反応開発(阪公立大院工) 小川昭弥 2.有機化学と分子認識: 二兎を追って 36 年(福井大院工) 高橋一郎 3.鎖状, 3~7・10~19・38 員環化合物の高選択的有機合成(関西学院大理) 田辺陽	31(2)
セミナー化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」; 6/23-24; 大塚製薬(株)ヴェガホール・板野工場/ホテル千秋閣 1.多剤耐性肺結核治療薬デラマニドのプロセス開発(大塚製薬) 三宅将仁 2.有機合成のデジタル化に基づく分子性ハロゲンの科学ー有機合成 DX への挑戦ー(分子研) 榎山儀恵 3.【見学会】板野工場および 100 年記念施設 4.【放談会】有機合成研究 45 年を振り返って(阪大) 三浦雅博 5.地方大学で研究して、もうすぐ四半世紀: グリーンものづくりを目指して(静岡大グリーン科技研) 間瀬暢之 6.ラジカルが拓く新触媒・新反応・新機能(京大化研) 大宮寛久	30(2)
懇談会【中国・四国支部】	
第 82 回パネル討論会; 5/20; 岡山大学「含窒素分子の合成化学」 1.生物活性分子創出に向けた含窒素分子合成(関西学院大理) 村上慧 2.N1 ユニット活性種の創製に基づく含窒素分子合成(阪大院工) 南方聖司 参加者数: 113 名(80 名)	113(80)

表 5・8 令和 5 年度事業報告 (その 8)

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会【中国・四国支部】のつづき	
来日学者講演会；3/2；鳥取大学 Chemical probes for mycobacterial glycans: from tuberculosis tools to therapeutic opportunities (Central Michigan University, USA) Prof. Benjamin Swarts	30(12)
来日学者講演会；3/10；広島大学 Frustrated Lewis Pair (FLP) Chelation for Main Group Materials Synthesis (University of Alberta, Canada) Prof. Eric Rivard	40(29)
来日学者講演会；11/24；岡山大学 Dinitrogen Activation and Transformation Directly Affording N-Containing Compounds (Peking University, China) Prof. Zhenfeng Xi	87(58)
来日学者講演会；11/24；岡山大学 Recent Advances in Rhodium-Catalyzed Asymmetric Reactions (National Taiwan Normal University) Prof. Tamio Hayashi	87(58)
来日学者講演会；11/25；岡山大学 Catalytic Activation of Small Molecules Towards Polyaromatic Hydrocarbons (Charles University, Czech Republic) Prof. Martin Kotora	76(49)
来日学者講演会；11/25；岡山大学 Photochemistry & Organocatalysis: New Radical Opportunities (The University of Bologna, Italy) Prof. Paolo Melchiorre	76(49)
第 20 回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム；12/8-9；広島大学 口頭発表 (A) (20 分)、口頭発表 (B) (15 分)；学生発表件数 14 件 主催：ナノ・バイオ・インフォ化学研究会、日本化学会	55(39)
懇談会【九州・山口支部】	
第 1 回有機合成化学講演会；6/2；九州大学病院キャンパス・オンライン併用 招待講演 3 件 1. 遷移金属触媒を用いる脱芳香化反応 (千葉大院薬) 根本哲宏 2. グリーンケミストリーを意識した触媒開発 (高砂香料工業) 奈良秀樹 3. 環状アミン類やアルコール類の奇異な酸化反応との出会い (長崎大院薬) 尾野村治	77(28)
第 60 回化学関連支部合同九州大会；7/1；北九州国際会議場 招待講演：8 件 【有機化学講演】キラルケイ素分子の化学 (熊本大院先端科学) 井川和宣 ポスター発表 627 件；有機化学 85 件 主催：化学関係九州支部 担当：繊維学会西部支部	-(-)
来日学者講演会	中止
見学会	
本部；実施なし	
九州山口支部；東ソー(株)南陽事業所；10/27	20(-)
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会；5 回(3/31,5/23,7/4,10/2,12/11)；化学会館・オンライン併用 第 122 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(5/23)；化学会館・オンライン併用 第 123 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/4)；化学会館・オンライン併用 中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe 企画委員会；4 回(4/21,9/11,10/3,10/5)；オンライン 学生のためのセミナー企画委員会；2 回(9/1,10/28)；オンライン 「AIと有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(3/6,12/19)；オンライン；勉強会企画会議；1 回(11/1)；オンライン 「ニューモグラティと有機合成化学」研究部会/幹事会；2 回(4/11；TKP お御茶ノ水,6/12；中外製薬戸塚研究所)；勉強会企画会議；2 回(5/9,6/2)；オンライン	

表 5・9 令和 5 年度事業報告 (その 9)

事業の名称および事業の概要	担当機関
公3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/12；オンライン ●奈良坂紘一（東大名誉教授）業績：先導的有機合成反応の開発 表彰式・受賞講演(R6 年 2/15)	賞選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞の選考と受賞者(協会賞：3 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	
奨励賞書面審査；実施	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会；10/11～10/12；オンライン	
【有機合成化学協会賞(学術的なもの)】 ●大江浩一（京大院工）業績：有機不飽和活性種-金属錯体の新規発生法に基づく触媒的有機合成反応の開拓 ●佐治木弘尚（岐阜薬大）業績：重水素標識化合物合成法の開拓：水素による白金族不均一系触媒活性化の発見とその展開 【有機合成化学協会賞(技術的なもの)】 ●釣谷孝之他 5 名（塩野義製薬）業績：COVID-19 治療薬エンシトレルビルの実用的製造法の開発 【有機合成化学奨励賞】 ●伊藤傑（横浜国大院工）業績：精密有機合成を基盤とした革新的発光機能分子の開拓 ●大好孝幸（筑波大数理物質）業績：生物活性天然物の全合成と構造活性相関研究 ●北之園拓（東大院理）業績：水中特異的な有機合成反応の開発 ●清川謙介（阪大院工）業績：酸化的極性転換に基づく官能基導入法の開発 ●服部倫弘（中部大先端研究セ）業績：基質支配に基づく新規ペプチド結合形成反応の確立 表彰式(R6 年 2/15) 受賞講演：協会賞(学術的なもの：R6 年 2/15；技術的なもの：日時未定) 奨励賞(R6 年 9 月)	賞選考委員会
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
Mukaiyama Award 委員会；2024 受賞者選考委員会 8/16；オンライン	
●山口潤一郎（早大理工） Development of common functional group-cleavage couplings, bond exchange reactions, and catalytic dearomatization functionalization using unique molecular catalysts, leading new trends ●Ryan A. Shenvi（The Scripps Research, La Jolla, CA, U.S.A.） Innovations in catalysis based on metal hydride hydrogen atom transfer(MHAT), spanning mechanistic study, method development and total syntheses of natural bioactive products 表彰式・受賞講演；R6 年 9 月	Mukaiyama Award 委員会
Lectureship Award	
●Bill Morandi（ETH Zürich, Switzerland） Recent Adventures in Catalysis and Beyond 受賞日；R5 年 9/20, 表彰式・受賞講演；R6 年 1/26（オンライン）	関西支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 4 件採択)；書面審査(郵便；～11/20)	
【カネカ・生命科学賞】 ●阿部洋（名大）業績：分子創製に基づく RNA 研究の展開 【東ソー・環境エネルギー賞】 ●難波康祐（徳島大）業績：環境問題に貢献する天然物合成 【日産化学・有機合成新反応／手法賞】 ●國信洋一郎（九大）業績：非共有結合性相互作用を活用する位置選択的な炭素－水素結合変換反応の開発 【富士フイルム・機能性材料化学賞】 ●小西玄一（東工大）業績：能性有機蛍光色素の合成とデバイスおよび分子イメージングへの応用 表彰式(R6 年 2/15)；受賞講演(R6.日時未定・オンライン)	企業冠賞選考委員会

表 5・10 令和 5 年度事業報告 (その 10)

事業の名称および事業の概要	担当機関
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
<p>野依賞委員会；2023 受賞者選考委員会 8/9；オンライン</p> <p>●Kenso Soai (Tokyo University of Science, Japan) Professor Soai made a groundbreaking discovery in the realm of chirality by identifying the first instance of asymmetric autocatalysis involving 5-pyrimidyl alkanol in the enantioselective addition of diisopropylzinc to pyrimidine-5-carbaldehyde, called as the Soai reaction. Asymmetric autocatalysis is a reaction in which a chiral product serves as a catalyst for its own production. The Soai reaction exhibits the remarkable capability to significantly enhance the enantiomeric excess of the initial asymmetric autocatalyst, transforming it into a near-enantiopure compound during the consecutive asymmetric autocatalysis. Furthermore, his research delved into the origins of chirality, using various chiral triggers within the Soai reaction to relate to the chirality of highly enantioenriched organic compounds. The Soai reaction was found to be triggered by diverse factors, including chiral minerals, circularly polarized light, chiral crystals composed of achiral compounds like γ-glycine and isotope chirality. Most astonishingly, the Soai reaction demonstrated the ability to achieve spontaneous absolute asymmetric synthesis without any external chiral factors. Thus, Professor Soai has made invaluable contributions to the study of chirality.</p> <p>表彰式・受賞講演；R6 年 2/15</p>	野依賞委員会
支部表彰	
<p>【東北支部】 第 38 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー賞；12/12 15 分講演の部；野田健太（東北大院薬），諏訪朝也（東北大院生命） ショートトークの部；岩田真輝（東北大院薬），吉田直輝（東北大院工）</p>	-(-)
<p>【関西支部】 第 21 回支部賞授賞講演会；10/23；大阪科学技術センター 1.反応性多窒素原子官能基を操る有機合成化学の開拓（富山大学術）谷本裕樹 2.芳香環を密に集積させた π クラスタ分子の創出と機能解明（阪大院理）西内智彦 3.高難度光還元反応を実現するカルバゾール光増感剤の開発と機能展開（神戸大院理）松原亮介</p>	-(-)
<p>【中国・四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/18；広島大学 【支部奨励賞受賞講演】 1.カリックス[5]アレーンとフラレンのホスト-ゲスト錯形成を基盤とした超分子集合体の開発（広島大）平尾岳大 2.含窒素芳香族複素環化合物の光機能開拓（徳島大）八木下史敏 【特別招待講演】 遷移金属触媒を用いる脱芳香化反応（千葉大）根本哲宏</p>	60(36)
<p>【九州・山口支部】 第 33 回万有福岡シンポジウム；6/3；九州大学；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会</p>	-(-)
<p>【九州・山口支部】 第 2 回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式；10/26；東ソ-南陽事業所 招待講演 1.ホウ素を基軸とする分子プローブ合成戦略（九大院薬）丹羽節 2.連続フロー法による有機合成化学の革新（東大院理）小林修 3.有機チタン錯体触媒によるシクロオレフィン共重合体の精密合成（広大院先進理工）塩野毅</p>	75(1)
他 1・共益事業	担当機関
ゆうごう会	
ゆうごう会（東京；大阪）	中止

表 5・11 令和 5 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
他 1・共益事業のつづき	
海外視察団派遣	
海外視察団派遣；実施なし	
技術アドバイス事業	
技術アドバイス事業；申請なし	
研究企画賞	
研究企画賞選考委員会；11/15；オンライン；21 件採択	
<p>●味の素研究企画賞：佐藤浩平（静岡大学） 有機フッ素化合物分解酵素の完全化学合成と酵素鏡像体化による安定性向上に関する新戦略</p> <p>●関東化学研究企画賞：橋本善光（昭和薬科大学） 酸塩基触媒によるニトロンの発生活法と付加環化反応制御法の開発</p> <p>●コニカミルタ研究企画賞：宇佐見享嗣（名古屋大学） 昆虫の異物代謝能力を利用した新奇機能性ナノカーボン材料の開発</p> <p>●塩野義製薬研究企画賞：水野翔太（相模中央化学研究所） ルテニウム錯体触媒によるヒドロキシ基を脱離基とするアリル化合物の環境調和型合成法の開発</p> <p>●第一三共研究企画賞：藤野遥（東京大学） 光触媒型ラジカル反応を駆使する高酸化度天然物トリプトニン A の効率的全合成戦略の確立</p> <p>●ダイセル研究企画賞：阿部純平（大阪大学） 小胞体内 N 結合型糖タンパク質品質管理機構への UGGT の寄与解明を指向した新規 UGGT 阻害剤の開発</p> <p>●田辺三菱製薬研究企画賞：安井孝介（大阪大学） スルホキシミンを多機能性官能基とする多置換アルケンの立体選択的合成</p> <p>●中外製薬研究企画賞：安川直樹（名古屋工業大学） シアノ基の脱離を起点とした革新的合成戦略の提唱</p> <p>●DIC 研究企画賞：中野健央（信州大学） 実用的フォトンアップコンバージョンを目指した、重原子フリー型ドナー分子の設計と創製</p> <p>●帝人ファーマ研究企画賞：川越文裕（帝京大学） 側鎖フッ素化ビタミン D₃ 誘導体の網羅的合成と生物活性評価による医薬品への展開</p> <p>●東ソー研究企画賞：関根康平（九州大学） 炭素資源の有効活用を指向した芳香族炭素 – 窒素結合の切断を伴う可視光駆動型二官能基化反応の開拓</p> <p>●東ソー・ファインケム研究企画賞：奥田靖浩（岡山理科大学） 多環芳香族骨格の迅速構築を指向したアレーノド形成によるパイ拡張化学</p> <p>●日産化学研究企画賞：鹿又喬平（大阪大学） Pickering エマルションによる反応場の区画化が可能にする多触媒反応の新設計戦略</p> <p>●日本触媒研究企画賞：シュ ウエイ（慶應義塾大学） キノリンを基盤とする新規材料の開発</p> <p>●富士フイルム研究企画賞：渡邊康平（東京大学） フロー法を指向したヘテロ元素ラジカル種のオンデマンド供給法の開発</p> <p>●富士フイルム和光純薬研究企画賞：大澤歩（京都大学） ニトロアルカンのリンチピン型三成分連結反応</p> <p>●保土谷化学工業研究企画賞：谷岡卓（富山大学） 生体深部の光癌治療を志向した近赤外光レドックス触媒の開発</p> <p>●三井化学研究企画賞：黒田悠介（京都大学） 人工エポキシダーゼのテラーメイド創生</p> <p>●三菱ガス化学研究企画賞：姜法雄（神戸大学） 未開拓資源「非典型」イソフラボノイドの生合成を模倣した網羅的化学合成</p> <p>●三菱ケミカル研究企画賞：清水大貴（京都大学） ボトムアップ型分子設計に基づく赤外エレクトロクロミズム材料の設計と自在制御</p>	研究企画賞選考委員会

表 5・12 令和 5 年度事業報告（その 12）

事業の名称および事業の概要	担当機関
研究企画賞のつづき	
<p>前ページのつづき</p> <p>●Meiji Seika ファルマ研究企画賞：小西成樹（北里大学） 粘膜ワクチンアジュバントへの応用を指向した生薬ヘズ由来ラブラボシド類のフロー連続全合成</p>	
法人運営関連会議	
本部関連	
第 86 回通常総会(定期社員総会；2/15；如水会館)	
運営委員会・理事会(1/26, 2/15, 4/18, 6/16, 9/14, 12/7)；化学会館・オンライン併用	
財務・予算委員会(11 月下旬, 1 月下旬；メール報告)；人事委員会(9/6；化学会館)	
創立 80 周年記念事業	
組織・実行委員会（1/10, 4/24, 12/18；化学会館・オンライン併用, 6/8, 7/7；化学会館）	
出版委員会（1/30, 3/16, 5/24；オンライン, 11/29；化学会館）	
令和 6 年度役員候補者選出委員会(10/20)；オンライン	
支部関連	
<p>【全支部】</p> <p>支部キャラバン(会長訪問・意見交換会)：隔年実施 北海道 11/2；東海 8/22；関西 8/2；中国四国 11/18（未実施；東北, 関東, 九州山口）</p>	
<p>【北海道支部】</p> <p>幹事会；2 回（7/1, 11/2；北海道大学）</p>	
<p>【関東支部】</p> <p>支部常任幹事会；4 回(4/28, 7/6, 10/6, 12/22)オンライン併用、支部幹事会；2 回(4/28, 10/6)オンライン併用 関東支部候補者推薦委員会；7/6；オンライン併用 協会賞等支部推薦委員会；7/6；オンライン併用 第 40 回有機合成化学セミナー組織・実行委員会；3 回(8/8, 10/10, 10/28)オンライン併用</p>	
<p>【東海支部】</p> <p>常任幹事会(2/18；名古屋・オンライン)、支部奨励賞選考委員会(4 月；メール会議)、協会賞等支部推薦委員会(7 月；メール会議)、支部総会(11/11；三重大学)</p>	
<p>【関西支部】</p> <p>幹事会；4 回（3/1, 4/28, 8/2, 10/23；大阪科学技術センター）</p>	
<p>【中国・四国支部】</p> <p>幹事会・懇話会合同会議；2 回（5/20 岡山大, 11/18 広島大）</p>	
<p>【九州・山口支部】</p> <p>事務引継会（2/9 九州大・オンライン併用） 幹事会；2 回（6/2 九州大・オンライン併用, 10/26 東ソー(株)・オンライン併用）</p>	

事業報告附属明細書

令和 5 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告 2 令和6年度事業計画

令和6年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 6・1 令和6年度事業計画（その1）

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌 82巻第1～12号(12冊)、発行部数4,400部/月、年間総ページ1,200 普通号10回；特集号 2回 第5号「分子設計・編集・合成化学のイノベーション」 第11号 Special Issue in English	本部	
単行本の編集・出版 「有機化学実験の手引き/1988年出版・化学同人」 有機合成化学協会 編；(株)化学同人 改定刊行	本部	
公1 関連会議 有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定；6回) 出版委員会(日時未定；3回)	本部 本部	
公2・研究会事業		
シンポジウム 第124回有機合成シンポジウム(6月27-28日；北海道大学) 第125回有機合成シンポジウム(11月7-8日；早稲田大学国際会議場) 万有札幌シンポジウム(7月・北海道大学) 日本化学会北海道支部夏季研究発表会(日時・場所未定) 若手研究者のための有機化学札幌セミナー(11月；場所未定) 仙台地区春の講演会(5月または6月；場所未定) 若手研究者のための仙台セミナー(11月または12月；場所未定) 万有仙台シンポジウム(5月；東北大学川内キャンパス予定) 化学系学協会東北大会(9月；秋田大学) 有機コロキウム(9月；学協会東北大会と併催) 第86回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(野田シンポジウム) (5月18日；東京理科大学野田キャンパス) 第87回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(群馬シンポジウム) (11月30日；前橋市中央公民館・前橋ホテル) 有機合成化学ミニシンポジウム①(4月24日；東京理科大学記念講堂) 有機合成化学ミニシンポジウム②(10月；千葉大学) 有機合成化学ミニシンポジウム③(10月または11月；多摩地区) 2024年度学生シンポジウム(日時・場所未定) 若手研究者のためのセミナー(7月または8月；東京大学薬学系総合研究棟) 第40回有機合成化学セミナー (9月18-20日；新潟県；アートホテル新潟駅前) 有機合成セミナー(6月；長野地区) 有機合成化学総合講演会(12月；静岡地区) 若手研究者のためのセミナー(7月；三重地区) 第55回中化連秋季大会(日時未定；名古屋工業大学) 第55回中化連秋季大会特別討論会(日時未定；名古屋工業大学) 第44回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のため のセミナー)：8月上旬頃、大阪公立大学 有機合成北陸セミナー(10月上旬頃；場所未定) 若手研究者のためのセミナー(第38回若手化学者のための化学道場) (世話人：徳島大学；日時・場所未定) 第36回若手研究者のためのセミナー (8月；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーション I)	本部 本部 他学会 他学会 北海道支部 東北支部 東北支部 他学会 他学会 他学会 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 他学会 他学会 関西支部 関西支部 中国四国支部 九州山口支部	北海道支部 北海道支部

表 6・2 令和6年度事業計画（その2）

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公2・研究会事業(つづき)		
講習会		
2024年度前期有機合成化学講習会(日時・場所未定)	本部	
2024年度後期有機合成化学講習会(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」研究部会：勉強会2回(第13回、第14回；日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会：勉強会2回(第11回、第12回；日時・場所未定)	本部	
秋田地区講演会(日時・場所未定)	東北支部	
青森地区講演会(日時・場所未定)	東北支部	
有機合成2月セミナー“有機合成のニュートレンド2024”(2月5日；大阪科学技術センター)	関西支部	
有機合成夏期セミナー“明日の有機合成化学”(8月下旬頃・場所未定)	関西支部	
懇談会		
有機合成化学懇談会(日時・場所未定)	本部	関東支部
2024新春特別フォーラム(1月17日；ワイム貸会議室・山の上ホテル)	本部	
中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e(講演&討論会)：(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」公開講演会(日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティと有機合成化学」公開講演会(日時・場所未定)	本部	
学生のためのセミナー(企業の若手研究者との討論・交流会)第9弾(日時・場所未定)	本部	
海外・国内化学者講演会(3回；日時・場所未定)	北海道支部	
若手研究者座談会(日時・場所未定)	東北支部	
第19回有機合成化学談話会(三島セミナー)(日時未定；東レ(株)総合研修センター)	関東支部	
訪日学者講演会(10件；日時・場所未定)	東海支部	
有機合成新春講演会(1月22日；大阪科学技術センター)	関西支部	
セミナー化学千一夜“明日の化学への夢を語ろう”(6月頃・場所未定)	関西支部	
有機合成ミニシンポジウム2024-香川-(1月；香川大学)	中国四国支部	
第83回パネル討論会(5月；広島大学)	中国四国支部	
第84回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2024(日時・場所未定)	中国四国支部	
来日学者講演会(10件；随時)	中国四国支部	
第21回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定；広島大学)	他学会	中国四国支部
第1回有機合成化学講演会(5月24日；九州大学病院キャンパス；ハイブリッド開催)	九州山口支部	
第61回化学関連支部合同九州大会(6月29日；北九州国際会議場)	他学会	九州山口支部
来日学者講演会(最大4件)	九州山口支部	
見学会		
有機合成見学会(日時・場所未定)	本部	
有機合成見学会(熊本地区；日時・場所未定)	九州山口支部	
公2 関連会議		
事業委員会(日時未定；5回)	本部	
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)	本部	
有機合成化学講習会企画委員会(2回)	本部	
その他本部事業関連・研究部会関連委員会	本部	
有機合成化学談話会(三島セミナー)企画委員会(日時未定；1回)	関東支部	

表 6・3 令和6年度事業計画（その3）

事業の名称・事業の概要	担当組織
公3. 表彰事業	
有機合成化学特別賞関連 理事による予備投票(6~8月郵便)；委員会による選考(10月)	協会賞等選考委員会
有機合成化学協会賞・奨励賞関連 各支部推薦委員会(~7月) 協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月；郵便) 協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月)	各支部 協会賞等選考委員会 協会賞等選考委員会
Mukaiyama Award関連会議 Mukaiyama Award委員会(選考委員会)	Mukaiyama Award委員会
企業冠賞関連 東ソ-「環境エネルギー賞」書面審査(郵便) 日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便) 富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便) 令和5年度企業冠賞講演会(2023年度受賞講演)(日時・場所未定)	左記選考委員会 左記選考委員会 左記選考委員会 本部
高砂香料国際賞「野依賞」関連 野依賞委員会(選考委員会)	野依賞委員会
支部表彰 第22回支部賞授賞講演会(日時・場所未定) 有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会) (11月；岡山大学) 支部各賞選考委員会(日時未定；九州大学病院キャンパス) 第34回万有福岡シンポジウム(5月25日；九州大学) 第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式 (日時未定；熊本地区；ハイブリッド開催)	関西支部 中国四国支部 九州山口支部 他学会・九州山口支部 九州山口支部
他1(共益事業)	
技術アドバイス事業	本部
ゆうごう会(日時未定；東京、大阪各1回)	本部
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部
研究企画賞 研究企画賞選考委員会	研究企画賞選考委員会
法人運営関連会議	
本部関連 第87回通常総会(定期社員総会；2月15日) 運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月) 令和7年度役員候補者選出委員会(10月) 第1回幹事会(7月1日；北海道大学) 第2回幹事会(11月；場所未定) 第1回常任幹事会・第1回幹事会(4月24日；東京理科大学神楽坂キャンパス) 第2回常任幹事会(7月；場所未定) 第3回常任幹事会・第2回幹事会(10月；場所未定) 第4回常任幹事会(12月；場所未定) 協会賞等支部推薦委員会(7月；場所未定)	本部 本部 本部 北海道支部 北海道支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部 関東支部

表 6・4 令和 6 年度事業計画（その 4）

事業の名称・事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連	
常任幹事会(2月；名古屋)	東海支部
支部総会(日時未定；名古屋工業大学)	東海支部
支部奨励賞選考委員会(4月；メール会議)	東海支部
協会賞等支部推薦委員会(日時未定；メール会議)	東海支部
第1回幹事会(3月上旬頃、場所未定)	関西支部
第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定)	関西支部
第3回幹事会(7月中旬頃、場所未定)	関西支部
第4回幹事会(11月頃、場所未定)	関西支部
2024年度第1回幹事会・懇話会合同会議(5月；広島大学)	中国四国支部
2024年度第2回幹事会・懇話会合同会議(11月；岡山大学)	中国四国支部
事務引継会(2月；九州大学病院キャンパス；ハイブリッド開催)	九州山口支部
第1回幹事会(5月24日；九州大学病院キャンパス；ハイブリッド開催)	九州山口支部
第2回幹事会(日時未定；熊本地区；ハイブリッド開催)	九州山口支部

報告 3 令和 6 年度収支予算

令和 6 年度収支予算について、以下のとおり報告する。

- 1) 会費収入 前年予算比▲1,005 千円：実情に合わせて計上
- 2) 表彰事業 企業冠 4 社から 3 社に減
- 3) 退職給付費用(積立金) 2,466 千円：必要額満額を計上

次頁へつづく

表 7-1 令和 6 年度正味財産増減予算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位：円)

科 目	令和6年度 A	【参考】令和5年度		増減 D A-B	増減 E A-C
		予算 B	決算 C		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
【特定資産運用益】					
特定資産受取利息	801,000	802,500	324,066	▲ 1,500	476,934
退職給付特定資産受取利息	1,000	1,000	283	0	717
【受取会費】					
正会員受取会費	63,094,550	64,100,000	62,856,500	▲ 1,005,450	238,050
【事業収益】					
編集出版事業収益	12,888,000	14,295,000	12,679,303	▲ 1,407,000	208,697
研究会事業収益	33,605,000	31,227,000	25,125,996	2,378,000	8,479,004
表彰事業収益	5,300,000	6,700,000	6,700,000	▲ 1,400,000	▲ 1,400,000
【受取寄付金】					
受取寄付金	5,410,000	5,390,000	6,403,535	20,000	▲ 993,535
【雑収益】					
受取利息	2,327	2,323	719	4	1,608
雑収益	50,000	50,000	40,060	0	9,940
懇親会参加料収益	4,145,000	4,130,000	4,284,900	15,000	▲ 139,900
経常収益計	125,296,877	126,697,823	118,415,362	▲ 1,400,946	6,881,515
(2) 経常費用					
【事業費および管理費】					
編集出版事業費	24,760,289	31,860,289	25,979,823	▲ 7,100,000	▲ 1,219,534
研究会事業費	38,627,034	36,972,314	29,189,028	1,654,720	9,438,006
表彰事業費	12,215,277	12,464,377	11,124,378	▲ 249,100	1,090,899
給料手当	23,793,764	30,135,788	28,077,962	▲ 6,342,024	▲ 4,284,198
アルバイト費	2,600,000	2,580,000	2,682,999	20,000	▲ 82,999
退職給付費用	2,465,861	3,404,454	796,501	▲ 938,593	1,669,360
その他人件費（福利厚生費）	5,660,000	6,508,127	6,352,325	▲ 848,127	▲ 692,325
会議費	1,103,000	1,303,000	1,318,467	▲ 200,000	▲ 215,467
旅費交通費	3,382,000	3,465,000	2,159,828	▲ 83,000	1,222,172
通信費	1,096,500	1,341,500	772,016	▲ 245,000	324,484
什器備品費	200,000	200,000	32,780	0	167,220
事務用品・リース費	2,000,000	2,000,000	1,675,801	0	324,199
水道光熱費	290,000	290,000	248,902	0	41,098
事務所賃借料	4,928,988	4,928,988	4,928,989	0	▲ 1
諸謝金	1,200,000	1,200,000	1,210,000	0	▲ 10,000
懇親会費	6,090,000	6,530,000	7,669,058	▲ 440,000	▲ 1,579,058
雑費（税・手数料・会費・IT）	6,892,700	5,366,100	7,649,198	1,526,600	▲ 756,498
経常費用計	137,305,413	150,549,937	131,868,055	▲ 13,244,524	5,437,358
当期経常増減額	▲ 12,008,536	▲ 23,852,114	▲ 13,452,693	11,843,578	1,444,157
2. 経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	▲ 12,008,536	▲ 23,852,114	▲ 13,452,693	11,843,578	1,444,157
一般正味財産期首残高	286,038,598	299,491,291	299,491,291	▲ 13,452,693	▲ 13,452,693
一般正味財産期末残高	274,030,062	275,639,177	286,038,598	▲ 1,609,115	▲ 12,008,536
II 指定正味財産増減の部					
【特定資産運用益】野依賞基金					
特定資産受取利息	70	50	78	20	▲ 8
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	0	4,000,000
一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 3,723,921	0	▲ 276,079
当期指定正味財産増減額	70	50	▲ 3,723,843	20	3,723,913
指定正味財産期首残高	6,257,047	9,980,890	9,980,890	▲ 3,723,843	▲ 3,723,843
指定正味財産期末残高	6,257,117	9,980,940	6,257,047	▲ 3,723,823	70
【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
特定資産受取利息	70	100	49	▲ 30	21
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	1,300,000	0	▲ 300,000
一般正味財産への振替額	▲ 1,200,000	▲ 1,200,000	▲ 1,098,614	0	▲ 101,386
当期指定正味財産増減額	▲ 199,930	▲ 199,900	201,435	▲ 30	▲ 401,365
指定正味財産期首残高	4,436,131	4,234,696	4,234,696	201,435	201,435
指定正味財産期末残高	4,236,201	4,034,796	4,436,131	201,405	▲ 199,930
III 正味財産期末残高	284,523,380	289,654,913	296,731,776	▲ 5,131,533	▲ 12,208,396

表 7・2 令和 6 年度正味財産増減予算書内訳表(1 / 2)

(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
1. 経常増減の部							
経常収益計	12,888,500	31,425,500	10,200,000	49,844,695	5,382,837	15,555,346	125,296,877
特定資産運用益	500	500	800,000	0	0		801,000
編集出版特定資産受取利息	500						
研究会特定資産受取利息		500					
表彰特定資産受取利息			800,000				
退職特定資産受取利息	0	0	0	0	0	1,000	1,000
受取会費				49,844,695	1,892,837	11,357,019	63,094,550
個人会員費受取会費				25,625,507	973,121	5,838,723	32,437,350
法人会員費受取会費				22,096,300	839,100	5,034,600	27,970,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,996,488	75,816	454,896	2,527,200
事業収益	12,888,000	31,215,000	4,200,000	0	3,490,000		51,793,000
編集出版事業収益	12,888,000						12,888,000
会誌事業収益	3,312,000						3,312,000
広告事業収益	9,048,000						9,048,000
別冊事業収益	35,000						35,000
会誌関係雑収益	70,000						70,000
単行本印税収益	150,000						150,000
複写権使用料収益	273,000						273,000
研究会事業収益		31,215,000			2,390,000		33,605,000
シンポジウム事業収益		20,588,000					20,588,000
講習会事業収益		5,590,000					5,590,000
懇談会事業収益		4,787,000			240,000		5,027,000
見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
表彰事業収益			4,200,000	0	1,100,000		5,300,000
企業冠賞事業収益			4,200,000	0			4,200,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益		210,000	5,200,000	0		0	5,410,000
受取寄付金		210,000	5,200,000	0			5,410,000
雑収益		0				4,197,327	4,197,327
受取利息		0				2,327	2,327
雑収益		0				50,000	50,000
懇親会参加料収益						4,145,000	4,145,000
経常費用	42,149,042	57,955,119	17,311,198		5,142,493	14,747,561	137,305,413
事業費	42,149,042	57,955,119	17,311,198		5,142,493		122,557,851
編集出版事業費	24,760,289						24,760,289
印刷製本費	11,645,990						11,645,990
用紙費	3,550,491						3,550,491
原稿料・校正費	696,000						696,000
編集費	843,715						843,715
送達費	6,814,493						6,814,493
別冊作成費	283,500						283,500
電子出版費	926,100						926,100
研究会事業費		36,218,034			2,409,000		38,627,034
シンポジウム費		22,819,200					22,819,200
講習会費		4,006,234					4,006,234
懇談会費		5,413,000			259,000		5,672,000
見学会事業費		250,000			2,150,000		2,400,000
研究会議費		508,600					508,600
事務委託費		3,011,000					3,011,000
支払寄付金		210,000					210,000
表彰事業費			12,093,977		121,300		12,215,277
表彰事業費			2,113,977				2,113,977
企業冠賞費用			4,780,000				4,780,000
研究企画賞費					121,300		121,300
国際賞費用			4,000,000				4,000,000
Mukaiyama Award事業費			1,200,000				1,200,000
給料手当	8,325,438	9,517,506	2,379,376		1,192,068		21,414,388
アルバイト費	1,010,880	1,155,440	288,860		144,820		2,600,000
退職給付費用	862,805	986,344	246,586		123,540		2,219,275
その他人件費（福利厚生費）	1,980,434	2,264,000	566,000		283,566		5,094,000
会議費	195,000	292,500	65,000		32,500		585,000
旅費交通費	588,000	882,000	196,000		98,000		1,764,000
通信費	288,000	432,000	96,000		48,000		864,000
什器備品費	60,000	90,000	20,000		10,000		180,000
事務用品・リース費	600,000	900,000	200,000		100,000		1,800,000
水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
事務所賃借料	1,478,696	2,218,045	492,899		246,449		4,436,089
雑費（税・手数料・会費・IT）	1,912,500	2,868,750	637,500		318,750		5,737,500

表 7.3 令和 6 年度正味財産増減予算書内訳表(2/2)

(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集・出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
73 管理費						14,747,561	14,747,561
74 給料手当						2,379,376	2,379,376
75 退職給付費用						246,586	246,586
76 その他人件費（福利厚生費）						566,000	566,000
77 懇親会費用						6,090,000	6,090,000
78 会議費						518,000	518,000
79 旅費交通費						1,618,000	1,618,000
80 通信費						232,500	232,500
81 什器備品費						20,000	20,000
82 事務用品・リース費						200,000	200,000
83 水道光熱費						29,000	29,000
84 事務所賃借料						492,899	492,899
85 諸謝金						1,200,000	1,200,000
86 雑費（税・手数料・会費・IT）						1,155,200	1,155,200
87 当期経常増減額	▲ 29,260,542	▲ 26,529,619	▲ 7,111,198	49,844,695	240,344	807,785	▲ 12,008,536
88 2. 経常外増減の部							
89 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90 計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92 3. 一般正味財産増減額							
93 一般正味財産期首残高							286,038,598
94 一般正味財産期末残高							274,030,062
95 当期一般正味財産増減額							▲ 12,008,536
96 【指定正味財産増減の部】							
97 1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98 指定正味財産運用益			70				70
99 特定資産受取利息			70				70
100 受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101 一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
102 指定正味財産期首残高			6,257,047				6,257,047
103 指定正味財産期末残高			6,257,117				6,257,117
104 2. Mukaiyama Award基金							
105 指定正味財産運用益			▲ 199,930				▲ 199,930
106 特定資産受取利息			70				70
107 受取寄付金			1,000,000				1,000,000
108 一般正味財産への振替額			▲ 1,200,000				▲ 1,200,000
109 指定正味財産期首残高			4,436,131				4,436,131
110 指定正味財産期末残高			4,236,201				4,236,201
111 【正味財産期末残高】							
112 正味財産期末残高							284,523,380

報告 4 永年会員認定者

定款第 5 条第 4 項および会員規程第 4 条の定めにより、普通会员(個人)として連続 20 年以上在籍し、年齢 75 歳に達した者は、75 歳の誕生日以後最初に開催される通常総会における報告をもって永年会員として認定する。以下の該当者を令和 6 年度より適用する（入会順；敬称略）。

内多 稔	井口 勉	林 民生	江藤 正義	稲永 純二	只野 金一
吉村 敏章	梅本 照雄	大船 泰史	利根 斉	鴻池 敏郎	三木 康義
南川 純一	宮田 幹二	馬場 章夫	森本 繁夫	小林 允	

以上 17 名

その他議案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

【参考資料】

付表1 令和5年度決算の構成

(単位：円)

科目	支部会計					支部会計					九州・山口	
	運結	本部	支部分計	北海道	東北	関東	東海	関西	中国・四国			
1 一般正味財産増減の部												
1 増減の部												
2 (1) 増収収益												
3 特定増収収益	324,066	324,066										
4 (特定増収収益) 特定増収収益	283	283										
5 (特定増収収益) 正会員受取金	62,856,500	62,856,500										
6 (特定増収収益) 編入会費	12,679,303	12,679,303										
7 (特定増収収益) 研究会事業収益	25,125,996	14,492,596										
8 (特定増収収益) 表彰事業収益	6,700,000	6,700,000										
9 (特定増収収益) 受取寄付金	6,403,535	5,192,535										
10 (特定増収収益) 受取利息	40,060	40,060			10							
11 (特定増収収益) 雑収益	4,284,900	4,060			13							
12 (特定増収収益) 懇親会参加料収入	118,415,362	101,013,580			13							
13 (特定増収収益) 経常収益計	25,979,823	25,979,823										
14 (特定増収収益) 経常費用(学業費・管理費)	26,142,179	7,810,181										
15 研究会事業費	2,946,849	18,331,998			294,091							
16 事務委託費	100,000	2,946,849			90,000							
17 支払高付金	11,124,378	100,000			14,330							
18 修学事業費	28,072,992	174,738										
19 旅行(バス)	6,582,992											
20 旅行(バス)	6,352,325											
21 その他人件費	796,501											
22 退職給付費用	4,636,824	786,501										
23 製菓会費	7,669,058	3,032,234			43,800							
24 会議費	1,318,467	772,055			13,200							
25 旅費交通費	2,159,828	546,412			13,200							
26 通信費	772,016	1,026,241			49,640							
27 什器備品費	32,780	706,755			2,050							
28 事務用品・リース費	1,675,801	32,780			600							
29 水道光熱費	248,902	1,675,801										
30 事務所賃借料	4,928,989	248,902										
31 雑費	1,210,000	4,928,989										
32 雑費	7,649,198	1,210,000										
33 経常費用計	131,868,055	104,816,651			52,938							
34 当期経常増減額	▲ 13,452,693	▲ 8,803,071			▲ 560,049							
35 経常外収益	0	0			0							
36 経常外費用	0	0			0							
37 経常外増減額	0	0			0							
38 当期増減額	▲ 13,452,693	▲ 8,803,071			▲ 560,049							
39 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
40 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
41 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
42 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
43 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
44 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
45 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
46 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
47 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
48 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
49 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
50 前期繰越利益剰余金	0	0			0							
51 前期繰越利益剰余金	▲ 13,452,693	▲ 13,452,693			▲ 13,452,693							
52 前期繰越利益剰余金	299,491,291	254,364,064			▲ 136,298							
53 前期繰越利益剰余金	286,038,598	241,217,896			44,820,702							
54 前期繰越利益剰余金												
55 前期繰越利益剰余金												
56 前期繰越利益剰余金												
57 前期繰越利益剰余金												
58 前期繰越利益剰余金												
59 前期繰越利益剰余金												
60 前期繰越利益剰余金												
61 前期繰越利益剰余金												
62 前期繰越利益剰余金												
63 前期繰越利益剰余金												
64 前期繰越利益剰余金												
65 前期繰越利益剰余金												
66 前期繰越利益剰余金												
67 前期繰越利益剰余金												
68 前期繰越利益剰余金												
69 前期繰越利益剰余金												
70 前期繰越利益剰余金												
71 前期繰越利益剰余金												